FUJIFILM

BL01547-100 JA

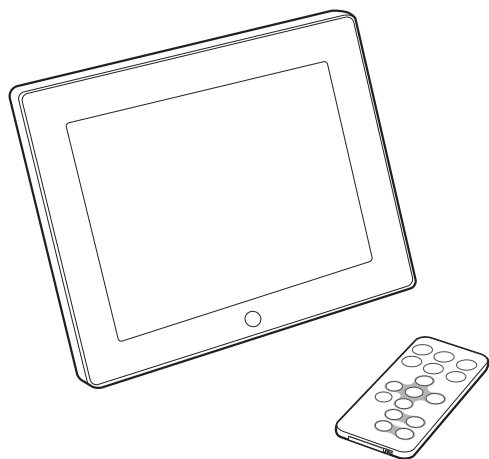
3D&2D デジタルフォトフレーム

FINEPIX REAL 3D V3

使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございます。

この説明書には、ファインピックスリアル 3D V3
の使い方がまとめられています。

内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。

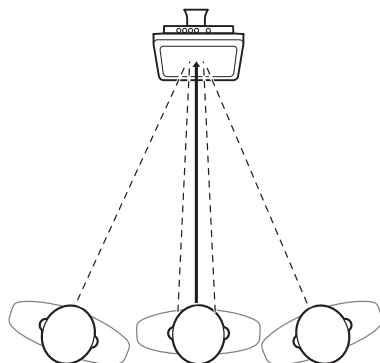
http://fujifilm.jp/

3D 表示について

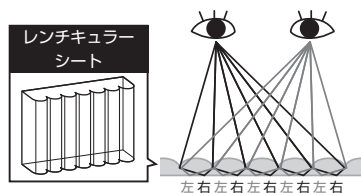
ファインピックスリアル 3D V3 は、3D で撮影した画像を表示できます。3D の画像は、ファインピックスリアル 3D W3 などで撮影できます。

詳しくは「3D 画像を表示する」（📖 18）をご覧ください。

3D 表示で画像を見るときは、デジタルフォトフレームの正面から約 40 ～ 50cm 離れて見ると、立体に見えやすくなります。また、正面以外の位置でも立体に見える位置があります。複数の方で観賞される場合は、立体に見える位置を確認してください。

- 立体に見えやすい距離には個人差があります。また、設置する環境や気温によっても見えやすい距離は変化しますが、故障ではありません。

3D モードの表示について

モニター表面に微細な凸レンズを並べることで両眼視差を生み、立体感を感じさせる「レンチキュラーレンズ方式」を採用しています。これにより、3D メガネを使わずに 3D 映像を見ることができます。また、画面のちらつきやクロストークを抑え、明るくキレイな映像を実現しています。

- 複数のレンズ状シート（レンチキュラーシート）を介して左右画像を見ると、左右の眼にそれぞれ別の画像が映るので両眼視差により立体に見えます。

⚠ファインピックスリアル 3D V3 安全上のご注意	
禁止	• 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、てんかんの既往症のある人は 3D 表示を視聴しないでください。病状悪化の原因になる場合があります。 • 体調不良の人、睡眠不足の人、疲れた状態の人、酒気を帯びた人、妊婦の方は、3D 表示を視聴しないでください。体調悪化の原因になる場合があります。 • 歩行中や運転中などでの使用は、危険ですのでおやめください。
強制	• 3D 表示の視聴中に疲労感、不快感などの異常を感じた場合にはただちに使用を中止してください。 • 3D 表示の視聴を継続するする場合は、30 分ごとを目安に 10 分程度の休憩を取ってください（赤青めがね方式（アナグリフ方式）をご利用の場合は、数分を目安に休憩を取ってください）。 • 視差調整を行っても二重に見える場合には、ただちに 2D 表示に切り換えてご使用ください。無理に継続視聴すると、眼精疲労や不快感などの原因になります。 • 車や電車に乗車中など画面のゆれが想定される環境での 3D 再生の視聴は、疲労感や不快感などの原因となることがあります。その場合はただちに視聴を中止ください。 • 3D 表示の視聴は視覚の発達に影響を与えるおそれが懸念されます。特に 6 才以下のお子様による使用の場合は 2D 表示でお使いください。また、お子様の視聴は保護者の監督のもとで行ってください。 • HDMI出力の表示装置では、表示画面の横幅の 2 倍以上離れて視聴ください。至近距離での視聴は、目に悪影響を与える場合があります（表示装置に 3D 表示に関する注意書きがある場合は、そちらもご覧ください）。 • 両目の視力差が大きい方など個人差によって、3D 表示が見えにくかったり、見えないことがあります。メガネなどで視差矯正が、出来ない場合は無理に 3D 表示をせずに 2D 表示でお使いください。

はじめに

お使いになる前に

次の手順にしたがって準備してください

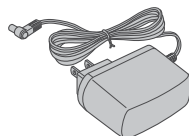
1 箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください（下記）。

2 デジタルフォトフレームを安全に使用されるために、
「お取り扱いにご注意ください」（📖26）をお読みください。

3 本書をよくお読みの上、デジタルフォトフレームをお使いください。

■ 同梱物一覧

デジタルフォトフレーム
FINEPIX REAL 3D V3

リモコン
（電池はあらかじめリモコンにセットされています）

AC パワーアダプター
（仕向け国によって形状が異なります）

- USB ケーブル
- 使用説明書・保証書一式

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときにご覧ください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。

この製品の動作がおかしいとき、画像が正しく表示されないときなどの原因と対処法を紹介しています。

用語や項目名をもとに、詳しい説明の記載ページを探せます。索引は五十音順になっています。

本書での説明について

リモコン操作を基本に説明しています。
一部の操作ではリモコンのみまたは本体のみのものがあります。詳しくは、「各部の名称」（📖6）でご確認ください。

本書で使われている記号について

- ⓘ：この製品を使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
- 🏷：この製品を使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
- 📖：参照ページを記載しています。

液晶画面のイラストについて

本書では、液晶画面の表示を簡略化して記載しています。実際の画面と文字などの表示が一部異なることがあります。

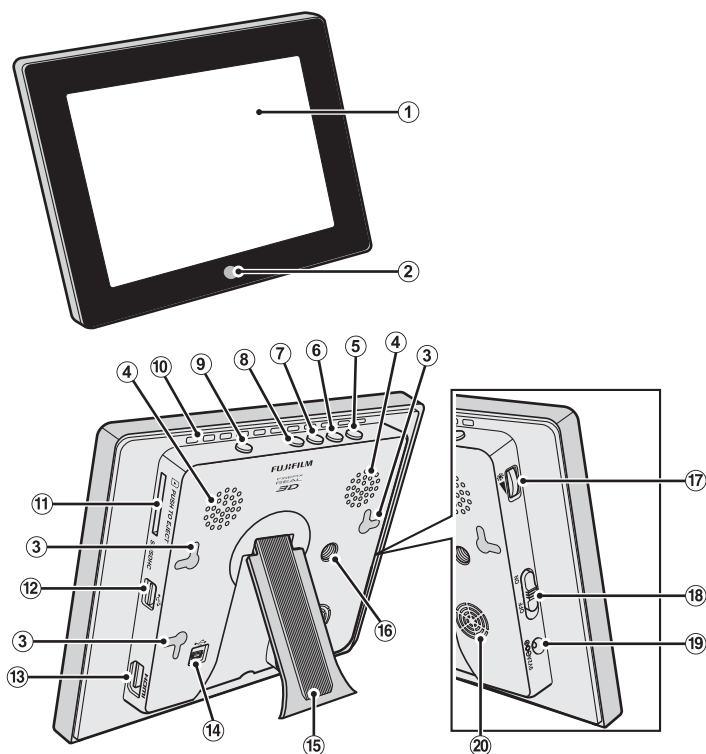
使用可能な記録メディアについて

この製品では、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、USB メモリーがお使いになれます。本書では、これらを「記録メディア」と表記します。詳しくは「使用可能な記録メディアについて」（📖32）をご覧ください。

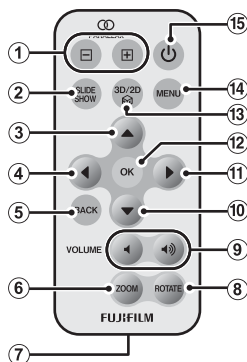
目次

各部の名称

使い方や説明については、名称の右側に記載されているページをご覧ください。

デジタルフォトフレーム本体

	名称	
1	液晶画面	–
2	リモコン受光部	8
3	壁掛け用穴	10
4	ステレオスピーカー	–
5	◀（左）ボタン	12
6	**OK**（決定）ボタン	12
7	▶（右）ボタン	12
8	**BACK**（戻る）ボタン	12
9	**MENU**（メニュー）ボタン	13
10	吸気孔	–
11	メモリーカードスロット	14
12	USB メモリー用端子	14
13	HDMI 端子（タイプ A）	25
14	Mini USB B 端子	24
15	スタンド	10
16	三脚用ねじ穴	10
17	画面明るさ調整ダイヤル	25
18	電源スイッチ	11
19	電源入力端子	11
20	冷却ファン	下記参照

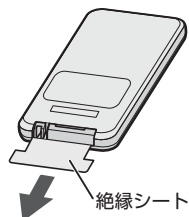
! 冷却ファンは本体内の温度上昇に伴い動作します。冷却ファン作動中はモーター音がします。

リモコン

	名称	📖
1	**PARALLAX**（⊟/⊞）（視差調整）ボタン	18
2	**SLIDE SHOW**（スライドショー）ボタン	17
3	▲（上）ボタン	12
4	◀（左）ボタン	12
5	**BACK**（戻る）ボタン	12
6	**ZOOM**（拡大）ボタン	16
7	電池ホルダー	9
8	**ROTATE**（回転）ボタン	16
9	**VOLUME**（🔈/🔊）（音量）ボタン	19
10	▼（下）ボタン	12
11	▶（右）ボタン	12
12	**OK**（決定）ボタン	12
13	**3D/2D**（3D/2D 切り換え）ボタン	18
14	**MENU**（メニュー）ボタン	13
15	⏻（電源）ボタン	11

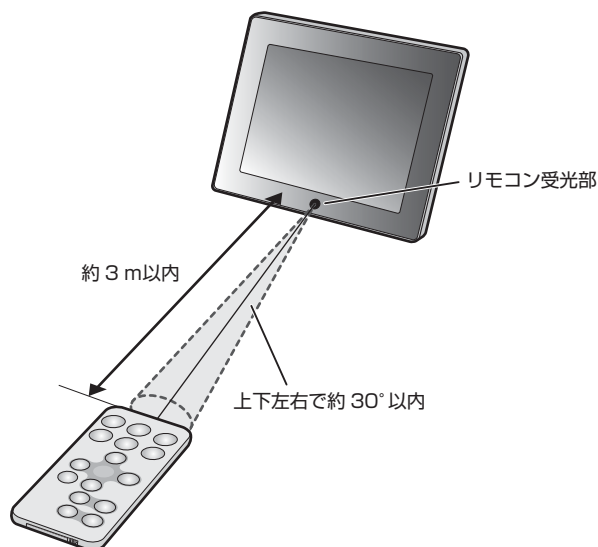
本体とリモコンで同じ名称のボタンは同じ機能です。どちらのボタンを使用しても操作できます。

使用するための準備

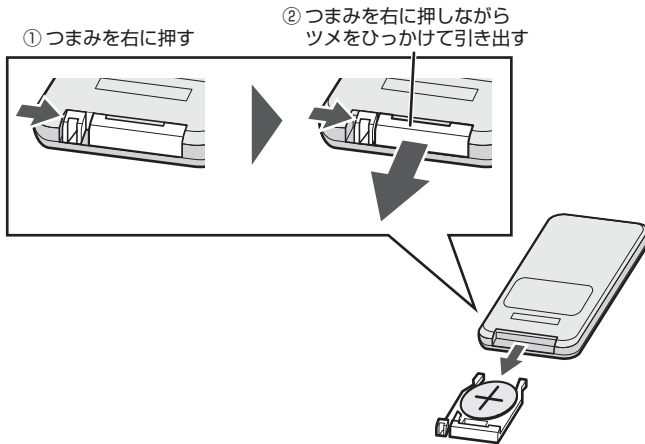
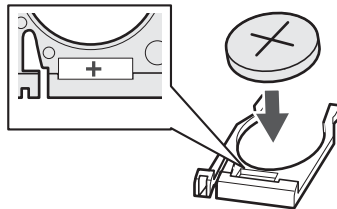
リモコンを準備する

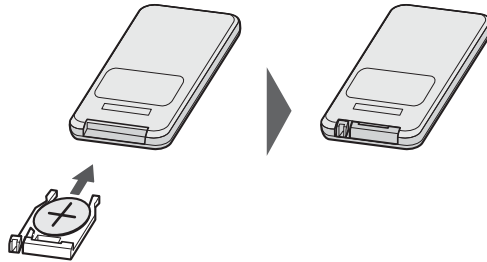
リモコンには、あらかじめ電池がセットされています。絶縁シートを引き抜いてお使いください。

✎ リモコンにセットされている電池は、お試し用の電池です。リモコンが正しく動作しなくなったときは、電池を交換してください。電池の交換手順については、「リモコンの電池を交換するときは」(📖9)をご覧ください。

リモコンを使用するときは

リモコンを本体前面のリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンの電池を交換するときは

使っているうちにリモコンが正しく動作しなくなったら、市販されている新しい電池（品番CR2025）に交換してください。

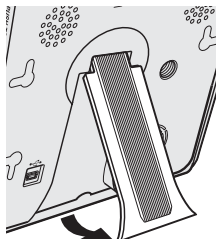
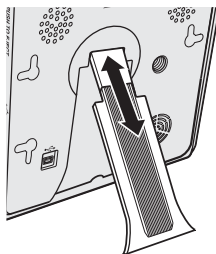
1 リモコンを裏返し、電池ホルダーを引き出します。

2 古い電池を取り出し、新しい電池の＋マークが上になるようにして電池ホルダーに入れます。

- 電池の裏面と表面を間違えないように電池ホルダーに入れてください。

3 電池ホルダーをリモコンに差し込みます。

- 「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

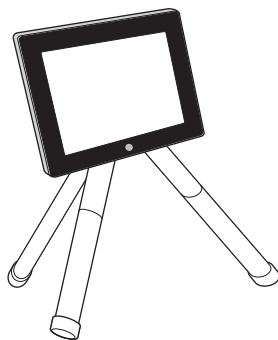
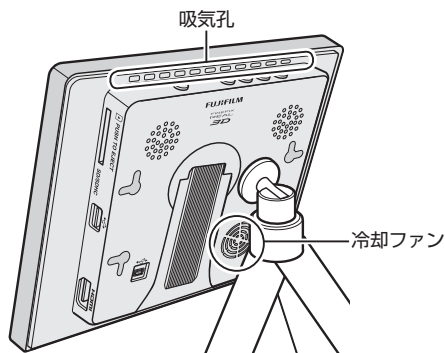
スタンドを調整する

スタンドを調整して、画面を見やすい角度にします。

スタンドを立てる

1 スタンドを立てます。

2 スタンドの長さを調整し、見やすい角度にします。

- **3D** で表示しているときは横置きのみとなります。**2D** 表示では縦置きもできますので、スタンドをまわして立ててください。
- 三脚用ねじ穴を使って、設置することもできます。

三脚を使って設置する

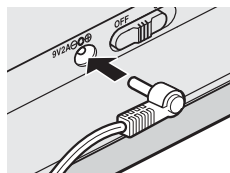
高さや角度をさらに自由に調整したい場合は、三脚をご使用ください。三脚は本体を支えることができる強度のものを選び、三脚用ねじ穴につけてください。

① 壁掛け用穴や三脚を使用する際は、冷却ファンと吸気孔をふさがないようにご注意ください。本体に熱がこもり、異常発熱を検知した場合は自動的に電源がオフになります。

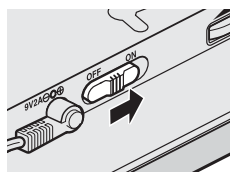
① 三脚をご使用の際は、落下したり転倒したりしないようにしっかりと固定し、安定した場所でご使用ください。

電源をオンにする / オフにする

電源をつなぐ

付属の AC パワーアダプターを電源入力端子に取り付け、コンセントを差し込みます。

❗ AC パワーアダプターは、必ず付属の製品をご使用ください。

電源をオンにする

本体の電源スイッチを **ON** の位置にスライドすると、液晶画面に FUJIFILM ロゴが表示されたあとに、スライドショーが開始されます。

デモ画像について

- 工場出荷時は、内蔵メモリーに製品の特長機能を紹介するデモ画像と BGM が入っています。
- デモ画像の削除は、パソコンの USB 接続で行えます（📖24）。

❗ 設定メニューの**システムセットアップ**で**フォーマット**すると、あらかじめ入っていたデモ画像や BGM も削除されます（📖23）。これらを残しておきたい場合は、パソコンなどにコピーしておいてください（📖24）。

🏷 画像が入った記録メディアが挿入されているときは、メディア内の画像（メモリーカードと USB メモリーの両方が挿入されている場合は、メモリーカード内の画像）のスライドショーが開始されます。

電源をオフにする

本体の電源スイッチを **OFF** の位置にスライドすると、電源がオフになります。

🏷 設定メニューの**オン / オフ タイマー設定**で、設定した時間内のみ画像を表示できます（📖23）。

リモコンの ⏻（電源）ボタンについて

本体の電源スイッチが **OFF** の位置のときは、リモコンの ⏻（電源）を押しても電源はオンにはなりません。
本体の電源スイッチが **ON** の位置のときは、リモコンの ⏻（電源）で電源をオン / オフにできます。

日時と言語を設定する

デジタルフォトフレームを初めて使用するときは、使用する前に日時と言語を設定します。カレンダー(📖20)、オン/オフタイマー(📖23)、アラーム(📖20)などの機能を使用するときは、必ず設定してください。

1 **MENU**（メニュー）を押します。
メインメニューが表示されます。

✎ メインメニューの詳細は「メインメニューについて」(📖13)をご覧ください。

2 ▲、▼、◀ または ▶ で**設定**を選び、**OK**（決定）を押します。
設定メニューが表示されます。

3 ▲ または ▼ で**システムセットアップ**を選び、**OK**（決定）を押します。
システムセットアップメニューが表示されます。

4 ▲ または ▼ で **言語/LANG.** を選び、**OK**（決定）を押します。
言語選択画面が表示されます。

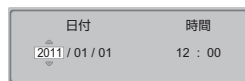
5 ▲ または ▼ で使用する言語を選び、**OK**（決定）を押します。
使用する言語が設定されます。

6 **BACK**（戻る）を押して、システムセットアップメニューに戻ります。

7 ▲ または ▼ で**日付 / 時刻設定**を選び、**OK**（決定）を押します。
日時設定画面が表示されます。

8 日時を設定します。

- ◀ または ▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選びます。
- ▲ または ▼ で日時を選びます。

✎ 本体のボタンを使っているときは、◀ または ▶ で年、月、日、時、分を選び、**MENU**（メニュー）で設定値を変更します。

9 **OK**（決定）を押すと、日時が設定され、システムセットアップメニューに戻ります。

10 **BACK**（戻る）を押して、メインメニューに戻ります。

✎ 設定メニューの**時計を表示**を**オン**にすると（📖22)、現在時刻が表示されます。

ⓘ AC パワーアダプターを長時間抜いたままにしておくと、日時設定はリセットされます。

メインメニューについて

デジタルフォトフレームの各機能はメインメニューから選びます。

メインメニューは、電源がオンのときに **MENU**（メニュー）を押すと表示されます。

メインメニューには、以下の項目があります。それぞれの詳しい内容については、参照ページをご覧ください。

項目	内容	表示画面
写真 （写真）	写真やスライドショーを表示します（📖15）。	写真表示画面
動画 （動画）	動画を再生します（📖19）。	動画再生画面
カレンダー （カレンダー）	卓上カレンダーとして使用できます（📖20）。	カレンダー画面
設定 （設定）	デジタルフォトフレームのさまざまな設定を行います（📖22）。	設定メニュー

▲、▼、◀ または ▶ で項目を選択し、**OK**（決定）を押すと、各メニュー項目の設定画面が表示されます。

画像を見る

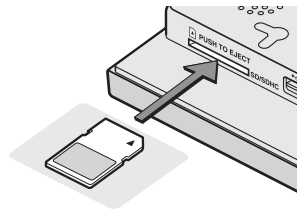
記録メディアを入れる

- 使用できる記録メディアについては、「使用可能な記録メディアについて」（📖32）をご覧ください。
- 表示できる画像ファイルの形式については、「主な仕様」の「対応ファイル」（📖31）をご覧ください。
- パソコンで加工したファイルは、表示できない場合があります。

- ⓘ 記録メディアは斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
- ⓘ スタンドや三脚で本体を立てた状態で記録メディアを挿入するときは、本体を支えて行ってください。本体が転倒して破損するおそれがあります。
- ⓘ 記録メディアのデータは、パソコンなどで必ずバックアップを取ってから使用してください。
- ⓘ 記録メディアを取り出すときは電源をオフにしてください。ファイルが破損するおそれがあります。

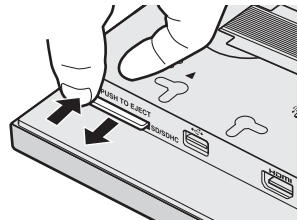
メモリーカードを入れる

メモリーカードの向きを図で確認し、メモリーカードスロットの表示にしたがって奥まで確実にカチッと音がするまで挿入します。

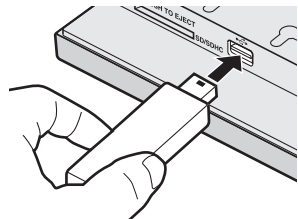
- ⓘ メモリーカードを挿入する際は、メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。メモリーカードの向きを間違えると、カードが抜けなくなったり、破損するおそれがあります。
- ⓘ SDXC メモリーカードは使用できません。

SD/SDHC メモリーカード

メモリーカードを取り出すときは

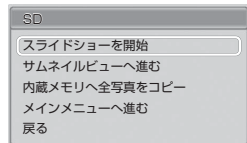
メモリーカードを指で軽く押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。

- ⓘ メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

USB メモリーを入れる

USB メモリー用端子に USB メモリーを差し込みます。

- ⓘ 市販されているすべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。

ポップアップメニューについて

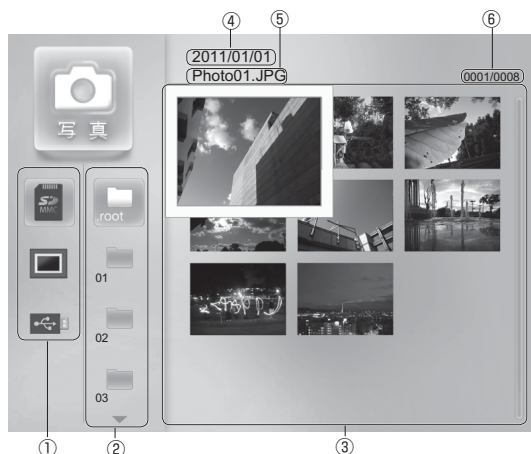
電源がオンの状態で記録メディアを挿入すると、挿入したメディアに対する動作を選ぶポップアップメニューが表示されます。▲ または ▼ で動作を選び、**OK**（決定）を押してください。

SD
スライドショーを開始
サムネイルビューへ進む
内蔵メモリへ全写真をコピー
メインメニューへ進む
戻る

選択した画像を見る

このデジタルフォトフレームでは、メモリーカード、USB メモリー、内蔵メモリー内の画像を表示できます。表示できる画像ファイルの形式については、「主な仕様」の「対応ファイル」（📖31）をご覧ください。

写真表示画面について

メインメニューで**写真**を選び、**OK**（決定）を押すと、写真表示画面が表示されます。

- 電源をオンにしたときにスライドショーが開始された場合は、**MENU**（メニュー）を押すとメインメニューが表示されます（📖13）。
- 電源をオンにしてからメモリーカードや USB メモリーを挿入したときは、ポップアップメニューが表示されます。**メインメニューへ進む**を選んで、**OK**（決定）を押すとメインメニューが表示されます（📖14）。

①	表示可能な画像が保存されている記録メディア ◆ メモリーカードや USB メモリーを挿入すると、これらの記録メディアを表すアイコンが表示されます。 ：SD/SDHC メモリーカード ：内蔵メモリー ：USB メモリー
②	①で選択した記録メディア内の表示可能な画像が保存されているフォルダ
③	②で選択したフォルダに保存されている画像のサムネイル
④	③で選択した画像の更新日
⑤	③で選択した画像のファイル名
⑥	③で選択した画像のファイル番号 / ②で選択したフォルダ内の総画像数

画像を選択して 1 コマ再生する

写真表示画面で表示する画像を選択します。

1 ▲ または ▼ で表示する画像が保存されている記録メディアを選び、**OK**（決定）を押します。
選んだ記録メディア内にあるフォルダが表示されます。

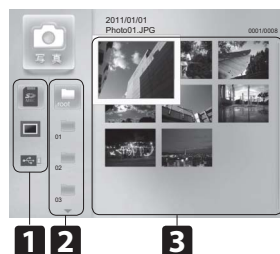
2 ▲ または ▼ で表示する画像が保存されているフォルダを選び、**OK**（決定）を押します。
選んだフォルダに保存されている画像のサムネイルが表示されます。

- 工場出荷時は、ファイル名の昇順でサムネイル画像が表示されます。表示順は、設定メニューの**システムセットアップ**の**並べ替え**で変更できます（📖23）。
- 記録メディアを選び直すときは、**BACK**（戻る）を押してください。

3 ▲、▼、◀ または ▶ で表示する画像を選び、**OK**（決定）を押します。
選んだ画像が画面いっぱいに表示されます（1 コマ再生）。

- フォルダを選び直すときは、**BACK**（戻る）を押してください。

1 コマ再生時には、以下の操作ができます。

ボタン	操作
・**OK**（決定）ボタン	：選んだフォルダ内の画像でスライドショー開始（📖17）
・**BACK**（戻る）ボタン	：写真表示画面に戻る
・◀/▶ ボタン	：前の画像へ / 次の画像へ
・**ZOOM**（拡大）ボタン	：画像の拡大 / 縮小
・**ROTATE**（回転）ボタン	：画像の回転（**2D** 静止画のみ） 回転状態を記憶させることはできません。
・**PARALLAX**（視差調整）ボタン	：視差調整（**3D** 画像のみ；📖18）
・**SLIDE SHOW**（スライドショー）ボタン	：選んだ記録メディア内のすべての画像でスライドショー開始（📖17）
・**3D/2D**（3D/2D 切り換え）ボタン	：**3D** 画像の **3D**/**2D** 表示切り換え（📖18）

スライドショーで連続再生する

選択した記録メディア内のすべての画像をスライドショーで連続的に見ることができます。

1 メインメニューで**写真**を選び、**OK**（決定）を押します。
写真表示画面が表示されます。

2 ▲ または ▼ でスライドショーで再生する記録メディアを選び、**OK**（決定）を押します。

3 **SLIDE SHOW**（スライドショー）を押します。
記録メディア内の 1 枚目の画像からスライドショーが開始されます。

- スライドショーの再生中に 3D 画像の視差調整はできません。1 コマ再生時に視差調整をしてからスライドショーを開始してください（📖18）。
- 同じファイル名の 3D 画像（MP ファイル）と 2D 画像（JPEG ファイル）がある場合は、JPEG ファイルの画像は表示されません（例：DSCF0001.MPO と DSCF0001.JPG）。

- 工場出荷時は、ファイル名の昇順でスライドショーが再生されます。表示順は、設定メニューの**システムセットアップ**の**並べ替え**で変更できます（📖23）。

スライドショーの設定について

スライドショーの設定は、設定メニューの**スライドショーセットアップ**で行います（📖22）。

メニュー項目	内容
音楽	BGM の**オン** / **オフ**
時間 / フレーム	1 コマの再生時間を設定
スライドショー効果	スライドショーの再生効果を選択
順序	スライドショーの再生順（**ランダム** / **ノーマル**）を選択 **ノーマル**を選ぶと、設定メニューの**システムセットアップ**の**並べ替え**（📖23）で設定した順番で再生されます。

スライドショーの BGM について

スライドショーの BGM は、スライドショーを再生している記録メディア内にある音楽ファイルが自動的に再生されます。再生できる音楽ファイルの形式については、「主な仕様」の「対応ファイル」（📖31）をご覧ください。

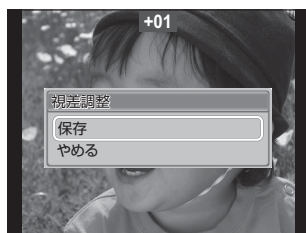
- BGM の再生順は、設定メニューの**システムセットアップ**の**並べ替え**で変更できます（📖23）。
- 画像にボイスメモが付いている場合は、ボイスメモのファイルも BGM として再生されます。
- 音楽ファイルはスライドショーでのみ再生できます。
- 内蔵メモリーへの音楽ファイルの追加や削除は、パソコンのUSB接続で行えます（📖24）。メモリーカードや USB メモリーへの追加や削除は、あらかじめパソコンで各記録メディアに追加または削除してください。

3D 画像を表示する

1 「画像を選択して 1 コマ再生する」（📖16）の手順 1 から 3 で 3D 画像を表示します。

2 **3D/2D** （3D/2D 切り換え）を押して、3D 表示モードに切り換えます。
画面に **3D** と表示されます。

3 **PARALLAX**（視差調整）（⊟/⊞）を押して、視差を調整します。
視差を調整すると、左右に黒の帯が表示され画像が小さくなります。

- 視差を調整して **OK**（決定）を押すと、確認画面が表示されます。**保存**を選んで **OK**（決定）を押すと、視差調整した 3D 画像を上書き保存できます。保存しないで元の画像に戻すときは、**キャンセル**を選んで **OK**（決定）を押すか **BACK**（戻る）を押してください。

- ① 視差調整を行っても二重に見える場合には、2D 表示でご使用ください。
- ① 正面以外など、立体視できない位置があります。立体に見える位置を確認してください（📖2）。
- ① 視差をつけすぎると、立体に見えにくいことがあります。
- ① 同じファイル名の 3D 画像（MP ファイル）と 2D 画像（JPEG ファイル）がある場合は、JPEG ファイルの画像は表示されません（例：DSCF0001.MPO と DSCF0001.JPG）。

- 縦置きのときは、3D に見えません。
- 2D の画像を 3D モードで表示しても 2D で表示されます。

動画を再生する

このデジタルフォトフレームでは、メモリーカード、USB メモリー、内蔵メモリー内の動画を再生できます。再生できる動画ファイルの形式については、「主な仕様」の「対応ファイル」（📖31）、「動画ファイルの互換性について」（📖32）をご覧ください。

1 メインメニューで**動画**を選び、**OK**（決定）を押します。
動画再生画面が表示されます。

2 「画像を選択して 1 コマ再生する」（📖 16）の手順 1 から 3 で動画ファイルを選び、動画を再生します。

- 工場出荷時は、ファイル名の昇順でサムネイル画像が表示されます。表示順は、設定メニューの**システムセットアップ**の**並べ替え**で変更できます（📖23）。

動画再生中は、以下の操作ができます。

・**OK**（決定）ボタン	：再生を一時停止 もう一度押すと、再生を再開します。
・**BACK**（戻る）ボタン	：再生を停止し、動画再生画面に戻る
・◀/▶ ボタン	：前の動画へ / 次の動画へ
・**VOLUME**（音量）ボタン（🔈/🔊）	：ボリューム調整
・**PARALLAX**（視差調整）ボタン	：視差調整（3D 動画のみ；📖 18） 一時停止時に操作できます。 視差調整は保存できません。
・**3D/2D**（3D/2D 切り換え）ボタン	：3D 動画の 3D/2D 表示切り換え（📖 18）

- 選択した動画の再生が終わると、自動的に次の動画が再生されます。

! すべての動画ファイルの動作を保証するものではありません。

カレンダー

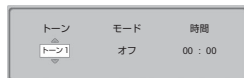
デジタルフォトフレームを、卓上カレンダーとして使用できます。

メインメニューで**カレンダー**を選び、**OK**（決定）を押すと、カレンダーと時計が表示されます。また、記録メディア内の画像のスライドショーも再生されます。**BACK**（戻る）を押すと、カレンダーを終了します。

- メモリーカードとUSBメモリーの両方が挿入されている場合は、メモリーカード内の画像のスライドショーが再生されます。記録メディアが挿入されていない場合は、内蔵メモリー内の画像のスライドショーが再生されます。
- スライドショーは、設定メニューの**スライドショーセットアップ**の設定で再生されます。ただし、スライドショーの効果はありません（📖17）。
- カレンダーは、横置きの方向でのみ使用できます。
- カレンダーで表示する画像を選ぶことはできません。
- カレンダーを使用する前に、必ず日時を設定してください。日時の設定については、「日時と言語を設定する」（📖12）をご覧ください。

アラームの設定について

カレンダー画面で**MENU**（メニュー）を押すと、カレンダーメニューが表示されます。**アラーム設定**でアラームを設定します。

- ◀ または ▶ で設定する項目（トーン、モード、時間）を選びます。
- ▲ または ▼ で設定値を選びます。

メニュー項目	内容
トーン	アラームの音を選択
モード	アラームのモード（**オフ** / **一回きり** / **毎日**）を選択
時間	◀ または ▶ で時分を選び、時間を設定

- 本体のボタンを使っているときは、◀ または ▶ で設定する項目を選び、**MENU**（メニュー）で設定値を変更します。
- アラーム音を止めたいときは、**BACK**（戻る）を押してください。

画像や動画ファイルを削除する / コピーする

内蔵メモリーや記録メディア内の画像や動画ファイルを削除したり、記録メディア内の画像や動画ファイルをコピーしたりできます。

ファイルの削除

1 写真（動画）再生画面で削除したい画像（動画）ファイルを選び（📖16）、**MENU**（メニュー）を押します。
写真（動画）メニューが表示されます。

2 ファイルを削除を選び、**OK**（決定）を押します。
確認画面が表示されます。

3 はいを選んで、**OK**（決定）を押します。
ファイルが削除されます。

- 削除したファイルは、元に戻せません。削除したくないファイルは、あらかじめパソコンなどにコピーしておいてください。
- 同じファイル名の MP ファイル（例：DSCF0001.MPO）と JPEG ファイル（例：DSCF0001.JPG）がある場合は、MP ファイルを削除すると、同じファイル名の JPEG ファイルも削除されてしまいますのでご注意ください。

- カメラでプロテクトされたファイルは削除できません。

ファイルのコピー

1 写真（動画）再生画面でコピーしたい画像（動画）ファイルを選び（📖16）、**MENU**（メニュー）を押します。
写真（動画）メニューが表示されます。

2 ファイルをコピーを選び、**OK**（決定）を押します。
確認画面が表示されます。

3 はいを選んで、**OK**（決定）を押します。
ファイルがコピーされます。

- ファイルのコピーは記録メディアを挿入したときに表示されるポップアップメニューからも行えます（📖14）。
- コピーするファイル名と同じファイル名がある場合は、ファイル名の先頭に「Copy(1)」を自動的に付けたファイル名でコピーされます。例えば、DSCF0001.JPG の場合は、COPY(1)_DSCF0001.JPG となります。同じファイル名が複数存在する場合は（）内の数字が自動的に +1 されます。
- プロテクトされているファイルをコピーした場合は、コピーされたファイルもプロテクトされます。

設定を変える（セットアップ）

デジタルフォトフレームのさまざまな設定を変更できます。

設定メニューの使い方

1 メインメニューで**設定**を選び、**OK**（決定）を押します。
設定メニューが表示されます。

2 ▲ または ▼ で変更する項目を選び、**OK**（決定）を押します。
それぞれの設定画面が表示されます。

3 それぞれの項目を設定します。

4 **BACK**（戻る）を押して、設定メニューを終了します。

設定メニュー一覧

メニュー項目	設定	工場出荷時
表示設定	**画像全体表示**を選ぶと画像全体を画面の大きさに合わせて表示し、**全画面表示**を選ぶと縦の長さに合わせて左右の画像を切り取って表示します。	**画像全体表示**
写真情報	画像情報を表示するかを選択します（**2D** 静止画のみ）。	**オフ**
時計を表示	画像表示中に時計を表示するかを選択します。	**いいえ**
画像の縦横判別	画像の縦横判別機能の**オン** / **オフ**を選択します。 ✎ 撮影したカメラの機種によっては、縦横判断できない場合があります。	**オン**
コピーモード	画像を内蔵メモリーにコピーするときに、**スマートコピー**を選ぶと画面の解像度に合わせて自動的に画像サイズを小さくしてコピーし、**オリジナルコピー**を選ぶと元の画像サイズを維持してコピーします。	**スマートコピー**
日付 / 時刻設定	日付と時刻を設定します（📖12）。	**ー**
アラーム設定	アラームを設定します（📖20）。	**ー**
HDMI 設定	HDMI 接続する機器の出力に応じた方式を設定します（📖25）。	**自動**
3D 注意表示	長時間の **3D** 表示は健康を損なうおそれがあるため、30 分後にメッセージを表示させるように設定します。	**30 分**
オン / オフタイマー設定	一定の時刻に本体の電源を自動的にオン / オフにします（📖23）。	**ー**
スライドショーセットアップ	スライドショーの設定を行います（📖17）。	**ー**

メニュー項目	設定	工場出荷時
システムセットアップ	**言語/LANG.**：メニューの言語を設定します（📖12）。	**日本語**
	並べ替え：ファイル名またはファイルの更新日時で、並べ替えます。	**ファイル名（昇順）**
	ファームウエア アップデート：本製品のファームウエアを更新するときは、ファームウエアファイルをメモリーカードに読み込んでカードを本体に挿入し、この項目を選択してから**はい**を選択します。	**ー**
	システムリセット：本製品を工場出荷時の状態に戻します。	**ー**
	フォーマット：内蔵メモリーのデモ画像、BGM、画像など、すべてのファイルが削除されます。 ⓘ プロテクトされた画像も削除されます。	**ー**

並べ替えについて

ファイル名（昇順）の場合は、フォルダ名が 0-9、A-Z、a-z … の順序で並べ替えられます。また、フォルダ内のファイルもフォルダごとに 0-9、A-Z、a-z … の順序で並べ替えられます。**ファイル名（降順）**はその逆の順序になります。

更新日時順（昇順）の場合は、更新日時が新しいものから古いものの順序で並べ替えられます。**更新日時順（降順）**はその逆の順序になります。

オン / オフタイマー設定

電源がオンになる時間とオフになる時間を設定し、その時間内のみ自動的にデジタルフォトフレームを起動できます。

例えば、毎日、10 時から 17 時までの間、デジタルフォートフレームの電源をオンにする場合は、以下の手順で設定してください。

1. 「設定メニューの使い方」（📖22）の手順 1 から 2 で**オン/オフタイマー設定**画面を表示します。
2. **自動設定電源オン / オフ**を選び、**OK**（決定）を押します。
   タイマー設定を有効にするために**オン**を選び、**OK**（決定）を押します。
3. **頻度**を選び、**OK**（決定）を押します。
   毎日を選び、**OK**（決定）を押します。
4. **時間設定**を選び、**OK**（決定）を押します。
   オンにする時間を **10 時 00 分**に設定し、オフにする時間を **17 時 00 分**に設定して、**OK**（決定）を押します。

ⓘ 設定した時間外にリモコンで電源をオンにしても（上記の例では 19 時など）、しばらくすると電源がオフになってしまいます。電源をオフにしたくないときは、**自動電源オン / オフ**を**オフ**に設定してください。

パソコンとUSBで接続する

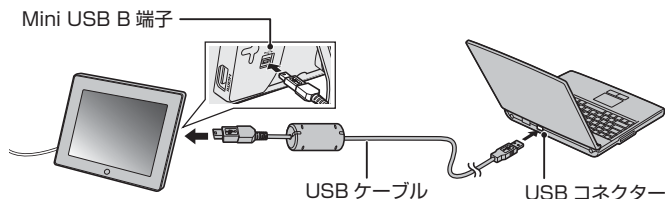
パソコンに接続して、内蔵メモリーのデータを整理できます。

推奨するパソコンの動作環境について

	動作環境
OS※	Windows Vista（SP2）、Windows XP Home Edition（SP3）、 Windows XP Professional（SP3）、Windows 7のプリインストール版
その他	本体標準のUSBポート。その他のUSBポートは動作保証外

※ 上記以外のWindows OSでは使用できません。自作パソコンや、OSをアップグレードしたパソコンは、動作保証外です。

パソコンと接続する

1 デジタルフォトフレームの電源がオフの状態で、付属のUSBケーブルでパソコンと接続します。

- USBコネクターの向きはパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書などで確認してください。
- USBケーブルは、プラグの向きを確認し、端子の奥まで確実に差し込んでください。USBハブやキーボードを経由せずに、直接パソコンと接続してください。

2 デジタルフォトフレームの電源をオンにします。

3 パソコンが本製品を正しく認識できたら、「マイコンピュータ」のリムーバブルディスクとして表示されます。ここでは、他のディスクドライブでファイルを扱うのと同じ方法で、ファイルを管理できます。

- パソコンを使って本製品の内蔵メモリーを初期化 (フォーマット) しないでください。
- メモリーカードやUSBメモリー内のファイルは、USB接続を通じて表示、編集できません。

4 データのコピーなどが終了したら、「ハードウェアの安全な取り外し」の操作をして、接続を外します。USBケーブルを外します。

- パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を行わずにケーブルを直接外さないでください。データが失われるおそれがあります。

- 通信中は、USBケーブルを抜かないでください。画像ファイルが破損するおそれがあります。

- 本製品はパソコンのモニターとしての機能はありません。
- パソコンとの接続中は、デジタルフォトフレーム側の操作はできません。デジタルフォトフレームを操作するときは、パソコンとの接続を外してください。
- 初めてパソコンと接続するときは、デバイスの認識に時間がかかることがあります。

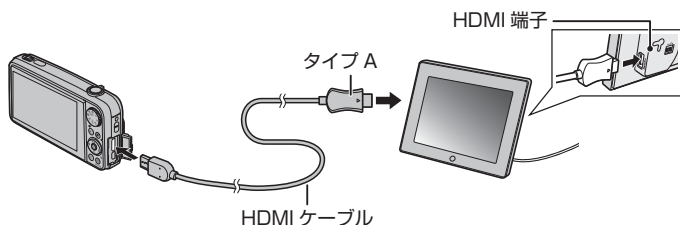
HDMI 機器を接続する

市販の HDMI ケーブルを使って、FinePix Real 3D W3 や HDMI 出力機器をつなぐと、簡単に 3D/2D の映像をデジタルフォトフレームで楽しむことができます。

- HDMI 接続を行うとデジタルフォトフレームのすべての動作が中断され、画面には HDMI 出力機器の出力映像が表示されます。

1 デジタルフォトフレームの電源をオンにします。

2 出力機器の電源をオンにして、HDMI 出力に設定します。

3 市販の HDMI ケーブルでデジタルフォトフレームと HDMI 機器を接続します。

4 出力機器で再生すると、映像が表示されます。

HDMI 接続中は、本体とリモコンで以下の操作ができます。

・◀/▶ ボタン（本体）/ **VOLUME**（音量）ボタン（リモコン）	： ボリューム調整 音量調整バーは表示されません。
・画面明るさ調整ダイヤル（本体）	： 画面の明るさ設定

- HDMI 出力では、設定メニューの **HDMI 設定**で**自動**または **Side by Side**（サイドバイサイド）の出力方式を選択できます（📖 22）。
- 出力機器側の設定や操作については、出力機器の取扱説明書をご参照ください。

① USB ケーブルと HDMI ケーブルは同時に接続できません。
① HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
① 3D 映像を出力するときは、HDMI（ハイスピード対応）ケーブルをご使用ください。

HDMI 端子について

・対応している映像信号

2D 映像	480/60p、720/60p、1080/60i	
3D 映像	フレームパッキング	720/60p、1080/24p
	サイドバイサイド	1080/60i
	トップアンドボトム	720/60p、1080/24p

・対応している音声信号

種類	リニア PCM
サンプリング周波数	48kHz/44.1kHz/32kHz

いろいろな機能を使う

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
🛇	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告	
電源プラグを抜く	**異常が起きたら電源を切り、電池や AC パワーアダプターを外す。** 煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。 • お買上げ店にご相談ください。
水ぬれ禁止	**内部に水や異物を落とさない。** 水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池や AC パワーアダプターを外す。 そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。 • お買上げ店にご相談ください。
風呂、シャワー室での使用禁止	**風呂、シャワー室では使用しない。** 火災・感電の原因になります。
分解禁止	**分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。** 火災・感電の原因になります。
接触禁止	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。** 感電したり、破損部でけがをする原因になります。 • お買上げ店にご相談ください。
🛇	**接続コードの上に重いものをのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。** コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。 • コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。
🛇	**不安定な場所に置かない。** バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。
🛇	**雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。** 落雷すると誘電雷により感電の原因になります。
🛇	**指定外の方法で電池を使用しない。** バッテリーは極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。
🛇	**電池を分解、加工、加熱しない。** **電池を落としたり、衝撃を加えない。** **電池をショートさせない。** **電池を金属製品と一緒に保管しない。** 電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

⚠警告	
🛇	**指定外の電池や AC パワーアダプターを使用しない。** 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。 火災の原因になります。
🛇	**電池の液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。**
🛇	**電池は、乳幼児に触れさせないこと。** 電池は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
❗	**メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。** メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意	
🛇	**油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。** 火災・感電の原因になることがあります。
🛇	**異常な高温になる場所に置かない。** 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。 火災の原因になることがあります。
🛇	**小さいお子様の手の届くところに置かない。** けがの原因になることがあります。
🛇	**本機の上に重いものを置かない。** バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。
🛇	**AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。** 電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
🛇	**電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。** 火災・感電の原因になることがあります。
🛇	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。** 感電の原因になることがあります。
🛇	**本機や AC パワーアダプターを布や布団でおおったりしない。** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
🛇	**液晶画面は、傷がつきやすいので、先のとがったもの（シャープペンシル、ボールペンなど）で液晶画面をたたいたり、ひっかいたりしない。**
❗	**お手入れの際や長時間使用しないときは、電池や AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。** 火災・感電の原因になることがあります。
❗	**メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めたあとにカードを引き抜くこと。** 飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。

電源についてのご注意

※ご使用になる電池の種類をお確かめの上お読みください。

■ コイン電池についてのご注意

- 水や海水につけたり、ぬらさないでください。
- 液漏れ、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 本製品に電池を入れるときは、極性（⊕ と ⊖）に注意して表示どおりに入れてください。

⚠ 万一、液漏れが起こったときは、電池挿入部についた液をふきとってから新しい電池を入れてください。

■ AC パワーアダプターについてのご注意

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになると故障する原因となることがあります。AC パワーアダプターに関しての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

- 室内専用です。
- 電源入力端子へ接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- AC パワーアダプターは、本製品以外には使用しないでください。
- 電源入力端子から接続コードを抜くときは、本機の電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください)。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

お使いになる前のご注意

ご使用になる前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

■ 著作権についてのご注意

著作権の目的となっている画像やファイル転送および表示は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合 : 付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合 : きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ 商標について

- Windows 7、Windows Vista および Windows ロゴは、マイクロソフトグループの商標です
- SDHC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。
- SD メモリーカード、miniSD カード、microSD カード、SDHC メモリーカード、miniSDHCメモリーカード、microSDHCメモリーカードは商標です。
- HDMI ロゴは商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

使用上のご注意

■避けて欲しい保存場所

次のような場所での本機の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本機の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部に水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■お手入れ

- 液晶モニター表面などの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- 本機の本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

メモリーカード / 内蔵メモリについてのご注意

■メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードを本機に入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になると本機の故障の原因になります。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードを本機に入れると、本機が誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れるおそれがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■内蔵メモリーについて

- 内蔵メモリー内の画像は、本機本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
- 内蔵メモリーをパソコンなどのほかの機器を使って初期化（フォーマット）しないでください。
- 修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- 本機修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

困ったときは

トラブルシューティング /FAQ

デジタルフォトフレームの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■ 電源

症状	ここをチェック！	処置	
電源が入りません。	AC パワーアダプターは正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	11

■ 画像の表示

症状	ここをチェック！	処置	
画像が表示されません。	記録メディアは正しく挿入されていますか？	挿入の向きなどを確認して正しく挿入してください。	14
	内蔵メモリーや記録メディアに画像は保存されていますか？	デジタルカメラやパソコンで記録メディア内に画像が保存されているかを確認してください。	―
	画像は、この製品で表示できるファイル形式ですか？	この製品に対応している画像ファイルを使用してください。	31
	画像をパソコンで加工していませんか？	パソコンで加工した画像は再生できない場合があります。	―
再生したい画像が見つかりません。	画像をパソコンで加工していませんか？	パソコンで加工した画像は再生できない場合があります。	―

■ ファイルの管理

症状	ここをチェック！	処置	
画像が削除できません。	画像がプロテクトされていませんか？	この製品ではプロテクトされた画像は削除できません。カメラでプロテクトを解除してから削除するか、パソコンに USB 接続して削除してください。	24

■ パソコンとの接続

症状	ここをチェック！	処置	
パソコンと接続したが、この製品の内蔵メモリーが認識されません。	USB ケーブルは正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	24
	パソコンは、推奨する動作環境ですか？	推奨するパソコンをお使いください。	24

■ HDMI 機器との接続

症状	ここをチェック！	処置	
正しく映像が表示されません。 音声が途切れてしまいます。	出力機器は正しく設定されていますか？	出力機器の制限や設定により正しく表示されない場合があります。機器によっては電源を入れ直し、HDMI の出力設定を変更する必要がありますので、出力機器の取扱説明書をご参照のうえ、正しく設定してください。	ー
	HDMI ケーブルは正しく接続されていますか？	HDMI ケーブルを正しく接続し、機器の電源を入れなおしてください。	25
	ご使用のケーブルは HDMI 規格に準拠したケーブルですか？	HDMI 規格に準拠したケーブルをご使用ください。	ー
	ご使用のケーブルはハイスピード対応の HDMI ケーブルですか？	3D 映像を出力するときは、ハイスピード対応の HDMI ケーブルをご使用ください。	ー
ケーブルが HDMI 端子に挿入できません。	HDMI ケーブルのプラグの向きは合っていますか？	正しい向きでケーブルを挿入してください。	25
	HDMI ケーブルはタイプ A のものですか？	対応しているケーブルはタイプ A です。タイプ A の HDMI ケーブルをご用意ください。	ー
左右に 2 分割された映像が表示されます。	**HDMI 設定**は正しく設定されていますか？	**自動**に設定されていると、Side by Side の映像は 3D 表示されません。**Side by Side** に設定してください。	22
3D 表示されません。	**HDMI 設定**は正しく設定されていますか？	出力機器に応じた方式を選んでください。	22
	出力している映像は 3D 映像ですか？	2D 映像は 3D 表示できません。	ー
	出力機器に制限がかかっていませんか？	出力機器の制限や設定により 3D 表示できない場合があります。出力機器の取扱説明書をご参照のうえ、正しく設定してください。	ー
	出力機器は正しく設定されていますか？		

■ その他

症状	ここをチェック！	処置	
リモコン操作しても動かなくなりました。	電池が消耗していませんか？	電池を交換してください。	9
日付や時間の設定が設定前の状態に戻りました。	長時間、AC パワーアダプターを抜いたままにしていませんか？	AC パワーアダプターをコンセントに差し込み、日付時刻を再設定してください。	11、12

資料

主な仕様

項目		仕様
液晶	液晶タイプ	3D/2D 両用高精細カラー液晶、3D 表示：レンチキュラー方式
	液晶画面サイズ	7.2 型
	表示解像度	800 × 600 ピクセル（3D 時は 800 × 600 × 2 チャンネル）
	総ドット数	2,880,000 ドット（1600 × 600 × RGB）
	表示色	約 1677 万色
	アスペクト比	4：3
	視野角	左右 160°、上下 140°
	輝度	約 340cd/m^2
最大再生画素数	静止画	最大 10,000 × 10,000 ピクセル（JPEG）
	動画 *1	最大 720P（1280 × 720 ピクセル）
内蔵メモリー		512MB
対応ファイル	静止画	3D：MP ファイル、マルチピクチャーフォーマット準拠 2D：JPEG
	動画	3D：AVI（Motion JPEG）、映像 2 チャンネル 2D：AVI（Motion JPEG）
	音声	リニア PCM（WAV） ビット数：8/16 bit、サンプリング周波数：8K ～ 48KHz
メモリーカードスロット		SD/SDHC メモリーカード
対応メモリーカード		SD メモリーカード /miniSD カード *2/microSD カード *2/ SDHC メモリーカード /miniSDHC カード *2/microSDHC カード *2
インターフェイス		HDMI × 1*3（タイプ A） MiniUSB（B タイプ）× 1/USB（A タイプ）× 1
スライドショー再生		3D エフェクト：12 種類 2D エフェクト：12 種類
インデックス表示		12 画面
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz（専用 AC パワーアダプター）
消費電力		最大時：約 14W、通常使用時：約 8W
本体外形寸法（幅×高さ×奥行き）		188.8mm × 153.5mm × 28.2mm（突起部 / スタンド含まず）
質量		約 415g

*1 HDMI 接続したときの再生表示は接続機器の性能に依存します。デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン動画ファイルおよびパソコンで加工または編集したハイビジョン動画ファイルは再生できない場合があります。

*2 変換アダプターが必要です。

*3 3D 動画や静止画再生時には HDMI（ハイスピード対応）ケーブルをご使用ください。

① 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

① 液晶画面は、非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01% 以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

動画ファイルの互換性について

FINEPIX REAL 3D V3 で内蔵メモリー、メモリーカード、USB メモリーの動画ファイルを再生するときは、以下のような制限がありますのでご注意ください。

- 再生可能な動画ファイルは AVI 形式のみです。MOV 形式またはその他の動画ファイルは再生できません。
- 1280 × 720 サイズ以下の動画ファイルのみに対応しています。
- Motion-JPEG の圧縮方式で記録された動画のみ再生できます
- H.264 で記録された動画は再生できません。
- 3D 動画や HD 動画を再生する際は、CLASS4 以上の SD カード、または同等以上の速度性能を持つ記録メディアをご使用ください。内蔵メモリーや、ご使用の記録メディアによっては動画再生時にコマ落ちすることがあります。

使用可能な記録メディアについて

この製品では、以下に記載されている市販の記録メディアの動作を確認しています。

- **SD メモリーカード**：2GB まで
- **SDHC メモリーカード**：32GB まで
- **USB メモリー**：32GB まで

- 対応表の範囲内の、すべての記録メディアの動作を保証するものではありません。
- 本機に挿入された記録メディアを無理に抜き取ると、本機や記録メディアが破損することがあります。
- 記録メディアを抜き取るときに、金属端子部分に手や金属を触れないでください。
- 画像の表示中に、記録メディアを取り外さないでください。データが消えたり、故障の原因になることがあります。
- カードアダプターを使用して本機に取り付けたメモリーカードを取り外すときは、カードアダプターごと完全に取り外してください。カードだけを取り外して、カードアダプターが本機に残っていると、正しく動作しなくなることがあります。

索引

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保管してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が裏表紙に記載されています。

■故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が裏表紙にあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。
- 内蔵メモリー内の画像は、本機の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。
  大切なファイルは別のメディア (ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など) にコピーして、バックアップしてください。修理に出すときには、内蔵メモリー内のデータは消してください。内部の基板交換等した場合、内蔵メモリー内のデータは保証できません。本機の修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 8 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取り扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問い合わせ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

●富士フイルム修理サービスセンターへの送付修理

- ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●お買上げ店への持ち込み修理

- 修理料金およびその支払い方法については、お持ちいただいたお店にご確認ください。

修理依頼票

※あらかじめ「個人情報の取扱について」をご確認ください。

※本紙は拡大コピーしてお使いください。

※下表の□は、該当する項目にチェック（✔）を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お名前		FAX 番号	
ご住所	〒　　ー		
製品名（型番）		ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体底面に記載してある 8 桁の番号です。 修理お問い合わせ時にご連絡ください。	NO.
修理品への添付	□保証書　・　□メモリーカード　・　□AC パワーアダプター　・ □リモコン □(　　　)　・　□(　　　) □(　　　)　・　□(　　　)		
見積	□要（修理金額　　　円以上見積）　・　□不要		
見積連絡方法	□電話　・　□ＦＡＸ		
故障症状 （故障時の様子）			
ご購入時期	20　　年　　月　　※保証書を添付してください。		
修理履歴	□初回　・　□再依頼（□同一症状　・　□別症状）		
発生状況　発生頻度	□開始時のみ　・　□いつも　・　□時々（　　日に　　回）		
発生状況　動作モード	□再生時　・　□撮影時　・　□ショックを与えると		
発生状況　他機との接続	□無　・　□有（接続機　　　）		
発生状況　使用電源			

FUJIFILM

富士フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992

月曜日～金曜日（日・祝日・年末年始を除く）
午前 9：00 ～ 午後 5：40 土曜日 午前10：00 ～ 午後 5：00

FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

●本製品の関連情報は…

※弊社ホームページ http://fujifilm.jp/ の自己解決に役立つ「Q＆A検索」もご利用ください。

■ 修理サービスQ&A
修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。
http://repairlt.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html

■ 修理納期検索サービス
東京もしくは大阪のサービスステーションおよび富士フイルム修理サービスセンターへ修理依頼品を送付、あるいは持ち込みされた場合、修理完了予定日を検索することができます。
http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp

■ FinePix修理概算見積サービス
当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を算出できます。
http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php

●修理の受付は…

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■ 修理のご相談受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター TEL 050-3786-1040
月曜日～金曜日（日・祝日・年末年始を除く）
午前 9：00 ～ 午後 5：40 土曜日 午前10：00 ～ 午後 5：00

FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■ 修理品ご送付受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター 〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1/TEL：050-3786-1040

▶お急ぎの場合は、全国どこからでも **【FinePixクイックリペアサービス】** お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス
http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php / TEL：050-3786-1020

▶お近くにサービスステーションがあれば **【FinePix 特急修理サービス】** 60分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス
※故障の内容によっては、対応できない場合があります。

サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ http://fujifilm.jp/ または上記の<修理ご相談受付窓口>にてご確認・お問い合わせください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 午前 9：30 ～ 午後 5：00）TEL 03-5786-1712